「長沼タンチョウ・ガイド講座」開催

７月３１日、第１回長沼タンチョウ・ガイド講座がながぬまホワイトベースで行われ、町内外から２５名が参加しました。

この講座は、タンチョウをシンボルとした観光の振興と共存を目指す町の取組に関心のある方へ、この取組を理解し「長沼タンチョウ・ガイド」になってもらおうという試みです。

第１回は、「ガイドの方法と役割」「タンチョウの生態」「タンチョウの歴史と文化」をそれぞれの専門家に講演いただき、参加された方からは「面白く勉強になった」「時間が経つのを忘れた」と大変好評でした。

新鮮な野菜を園児たちへ

８月５日、長沼町園芸組合連合会（荒井利夫会長）から、町からの活動助成に対してのお礼と収穫報告を兼ねて、農産物が寄贈されました。寄贈された野菜は、トマト（大玉）１６kg、高糖度トマト４kg、イチゴ６kg、ブロッコリー２４玉、アスパラガス２kg、きゅうり１０kg、長ネギ３kgです。

齋藤町長は「今年は、春先からの猛暑や局地的な大雨もあり、生産者としての腕を試される中で、このように立派な野菜をいただきありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。

寄贈された新鮮な野菜は、園児たちが待つ中央長沼保育園と南長沼保育園へ届けられました。

移住相談会を開催

８月８日、㈱クローバーホーム・合同会社マスケンが主催し町が共催する「北海道長沼町移住相談会」がながぬまホワイトベースで行われ、町へ移住を検討している５組の方々がオンラインや現地でそれぞれ参加しました。

相談会は、出村孝幸さん（Curry & Cafe さんぼんぎ）と山口命さんご夫婦（平飼い養鶏 moss garden）を先輩移住者としてゲストに迎え、それぞれの移住体験談の紹介や、参加者からの生活や移住に関する質問に答える形で行われました。

皆さんの関心事はやはり起業や病院、子育てのこと。一つ一つの質問に、体験やアドバイスを織り交ぜながらお話しいただき、より「リアルな長沼の暮らし」が伝わる相談会となりました。

図書購入に役立てて　長沼ライオンズクラブ

８月１０日、本町の図書購入に役立てていただきたいと、長沼ライオンズクラブ（駒谷広栄会長）から１０万円のご寄附がありました。

齋藤町長は「長年ご寄附をいただきありがとうございます。大切に使わせていただきます。」と感謝の言葉を述べました。

まちづくりに役立てて　山本エミ子さん

８月１２日、夫 故 山本勝美さんのご遺志を継いで、まちづくり全般に役立てていただきたいと、山本エミ子さん（しらかば区）から１０万円のご寄附がありました。

齋藤町長は、勝美さんの本町行政への多大なるご尽力に対し改めて感謝し、生前の思い出話とともに故人をしのびました。

北海道善行賞を受賞　土田孝幸さん

８月１２日、北海道善行賞伝達式が役場で行われ、北海道善行賞（障がい者自立支援功労者）を受賞された土田孝幸さん（２５区）へ、表彰状が伝達されました。

土田さんは、平成１４年に長沼町身障福祉協会に入会し、平成２３年６月から令和３年５月までの長きにわたり、長沼町身障福祉協会会長として、障がい者の自立と社会参加の推進に尽力し、生活福祉の向上に多大な貢献をされた功績が認められ、このたび表彰されました。

総合防災訓練を中止します

町では毎年、総合防災訓練を通じ、水防団員による水防活動のほか、避難訓練・炊き出し・救急救助訓練などを実施し、関係機関との連携の強化及び防災意識の高揚を図ってきたところですが、新型コロナウイルス感染拡大防止と参加者の安全を考慮し、今年度も総合防災訓練を中止します。

【問合先】役場総務係（☎88-2111）